

グローバル・ハイクオリティ成長株式ファンド（為替ヘッジなし）

<愛称：未来の世界>

追加型投信／内外／株式

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、マザーファンドへの投資を通じて、主としてわが国および新興国を含む世界の金融商品取引所上場株式（上場予定を含みます。）に実質的に投資を行い、信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行います。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2024年9月7日～2025年9月8日

第9期	決算日：2025年9月8日	
第9期末 (2025年9月8日)	基準価額	48,757円
	純資産総額	853,573百万円
第9期	騰落率	31.2%
	分配金合計	0円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。

(注2) △（白三角）はマイナスを意味しています（以下同じ）。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書（全体版）は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

（受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで）

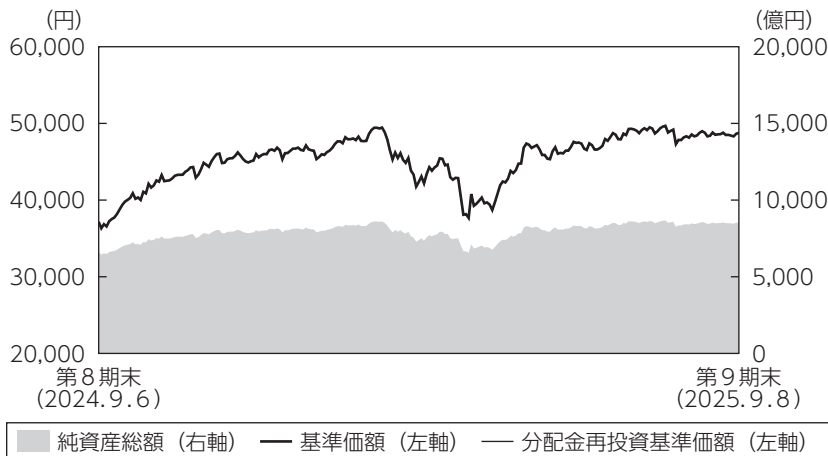
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <https://www.am-one.co.jp/>

運用経過の説明

基準価額等の推移



- (注 1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注 2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注 3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注 4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

基準価額の主な変動要因

米国を中心にグローバル景気が底堅く推移したことや、生成 AI 関連需要の拡大などを受けて、テクノロジー関連を中心に企業業績が堅調に推移したこと、欧州主要国が積極財政に転換したことなどが、基準価額にプラスに寄与しました。セクター別では、一般消費財・サービスやコミュニケーション・サービス、情報技術などの保有銘柄の株価上昇が主にプラスに寄与しました。また、ユーロや米ドルが対円で上昇したこともプラスに寄与しました。

1 万口当たりの費用明細

項目	第9期		項目の概要
	(2024年9月7日 ～2025年9月8日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	752円	1.659%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は45,356円です。
（投信会社）	(464)	(1.023)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
（販売会社）	(266)	(0.586)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	(23)	(0.050)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	4	0.009	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
（株式）	(4)	(0.009)	売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(c) 有価証券取引税	5	0.011	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
（株式）	(5)	(0.011)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用	9	0.021	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(6)	(0.013)	保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
（監査費用）	(0)	(0.000)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
（その他）	(3)	(0.007)	その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	771	1.699	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

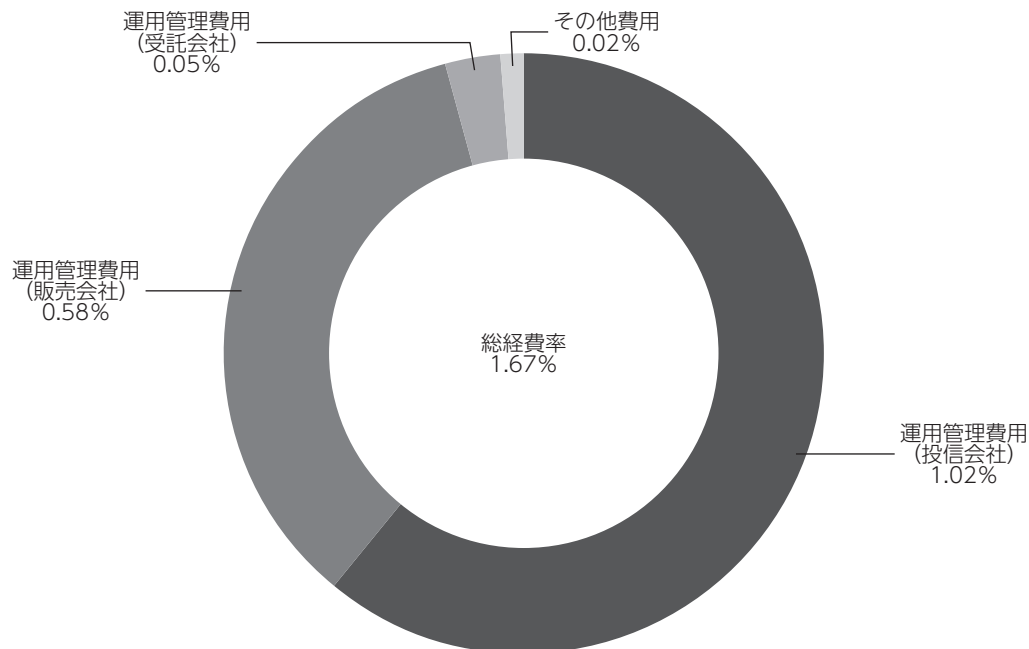
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

（参考情報）

◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.67%です。



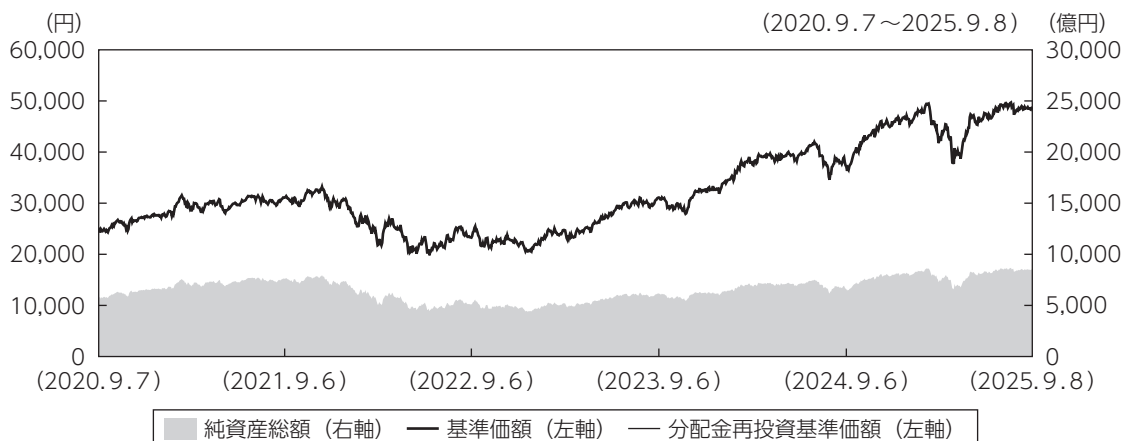
（注1）1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

（注2）各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

（注3）各比率は、年率換算した値です。

（注4）上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



(注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

(注3) 分配金再投資基準価額は、2020年9月7日の基準価額に合わせて指数化しています。

	2020年9月7日 期首	2021年9月6日 決算日	2022年9月6日 決算日	2023年9月6日 決算日	2024年9月6日 決算日	2025年9月8日 決算日
基準価額 (分配落) (円)	25,049	31,082	23,260	31,104	37,158	48,757
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	0	0	0	0	0
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	24.1	△25.2	33.7	19.5	31.2
純資産総額 (百万円)	582,950	760,934	509,306	616,843	659,173	853,573

(注) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマークは定めておりません。

投資環境

グローバル株式市場は上昇しました。米景気への過度な警戒感の後退や、欧米における利下げ、生成A I 関連企業の好業績などを背景に期前半は上昇しました。期半ばには、米国の関税政策に対する懸念から大きく下落する局面があったものの、期後半には、相互関税の発動延期や各国との交渉進展、米国の利下げ観測の高まりを背景に、大きく買い戻されました。

為替市場では、米ドルやユーロをはじめ、主要通貨に対して円安が進みました。米国のインフレ率低下が緩やかなものになり、利下げペースが緩慢になったことが期前半は円安につながりましたが、日銀の利上げや米国の政策を巡る不透明感から期後半には米ドルに対して円高基調となりました。ECB（欧州中央銀行）による利下げ局面が一巡したことや、財政政策転換による経済成長への期待から、期後半には対円でユーロが上昇しました。

ポートフォリオについて

●当ファンド

グローバル・ハイクオリティ成長株式マザーファンドの組入比率は期を通じて高位を維持しました。

●グローバル・ハイクオリティ成長株式マザーファンド

世界の上場株式に投資を行いました。投資アイデアの分析・評価や、個別企業の競争優位性、成長力の評価に基づき選定した質の高いと考えられる企業の中から、市場価格が理論価格より割安と判断される銘柄を厳選し、一般消費財・サービスおよびコミュニケーション・サービス、情報技術の組入比率を高位としました。一方で、ヘルスケアや生活必需品、エネルギーといったセクターには、投資を行いませんでした。

【グローバル・ハイクオリティ成長株式マザーファンドの運用状況】

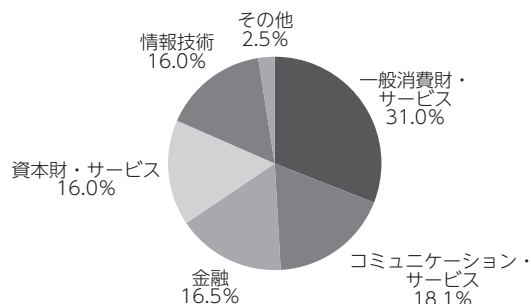
（注1）比率は純資産総額に対する割合です。

（注2）業種は決算日時点でのG I C S（世界産業分類基準）によるものです。

（注3）現金等はその他として表示しています。

（注4）上位8位以下がある場合はその他に含めて集計しています。

○業種別配分



分配金

収益分配金につきましては運用実績等を勘案し、無分配とさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

■分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	当期
	2024年9月7日 ～2025年9月8日
当期分配金（税引前）	－円
対基準価額比率	－％
当期の収益	－円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	38,756円

（注1）「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

（注2）当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

（注3）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

今後の運用方針

●当ファンド

引き続き、グローバル・ハイクオリティ成長株式マザーファンドの組入比率を高位に維持します。

●グローバル・ハイクオリティ成長株式マザーファンド

運用チームでは、業界環境や個別企業の業績動向などを踏まえ、常に保有銘柄に対する投資の前提を検証するとともに、マクロ環境の影響を受けにくい事業を特定することに注力しています。ポートフォリオで保有しているのは、財務内容が良好で、外部環境変化の影響を受けにくい企業です。引き続き徹底したボトムアップ・アプローチを通じ、長期にわたり持続的で質の高い成長が期待できる企業を選別し、株価の割安度を重視して少数の銘柄へ集中投資を行っていく方針です。

お知らせ

約款変更のお知らせ

- 当ファンドおよび当ファンドが投資対象とする「グローバル・ハイクオリティ成長株式マザーファンド」において、投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、「運用報告書の交付」を「運用状況にかかる情報の提供」に変更しました。

（2025年4月1日）

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供を進めてまいります。

■信託財産留保額の撤廃

【旧】前項の一部解約の価額は、一部解約の実行の請求受付日の翌営業日の基準価額から、当該基準価額に0.3%の率を乗じて得た額を信託財産留保額として控除した額とします。

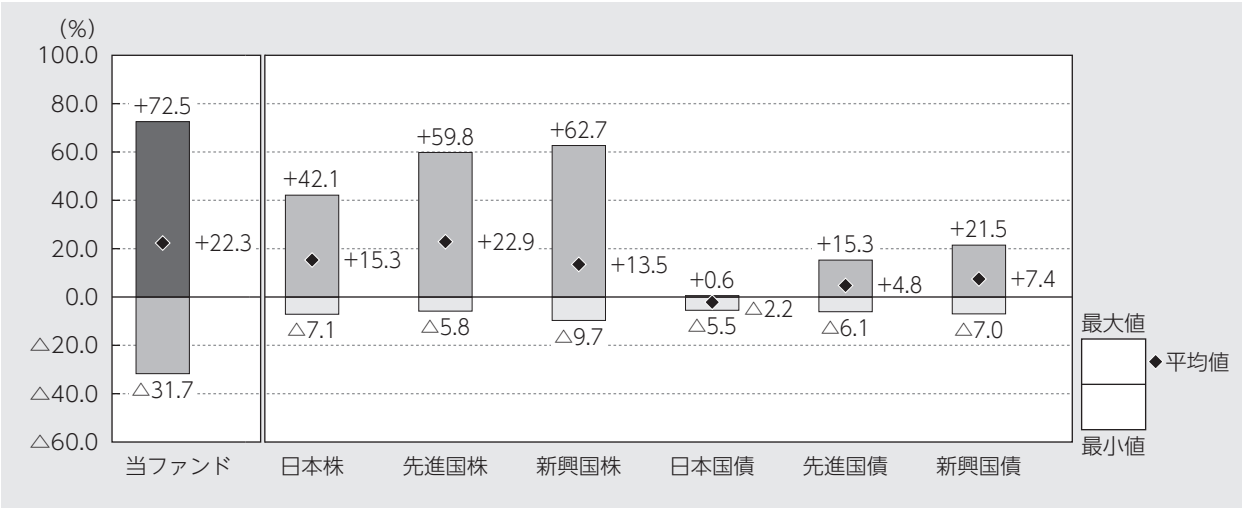
【新】前項の一部解約の価額は、一部解約の実行の請求受付日の翌営業日の基準価額とします。

（2025年6月7日）

当ファンドの概要

商 品 分 類	追加型投信／内外／株式	
信 託 期 間	2016年9月30日から2046年9月6日までです。	
運 用 方 針	信託財産の成長を図ることを目的として、積極的な運用を行います。	
主要投資対象	グローバル・ハイクオリティ成長株式ファンド (為替ヘッジなし)	グローバル・ハイクオリティ成長株式マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	グローバル・ハイクオリティ成長株式マザーファンド	わが国および新興国を含む世界の金融商品取引所上場株式（上場予定を含みます。） ^(*) を主要投資対象とします。 ^(*) DR（預託証券）もしくは株式と同等の投資効果が得られる権利を表示する証券および証書等を含みます。
運 用 方 法	マザーファンドのポートフォリオの構築にあたっては、投資アイデアの分析・評価や、個別企業の競争優位性、成長力の評価に基づき選定した質の高いと考えられる企業（「ハイクオリティ成長企業」といいます。）の中から、市場価格が理論価格より割安と判断される銘柄を厳選して投資を行います。ボトムアップ・アプローチを基本に、持続可能な競争優位性を有し、高い利益成長が期待される銘柄を選定します。マザーファンドの株式等の運用にあたっては、モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・インクに運用の指図に関する権限の一部を委託します。なお、モルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・インクは、その委託を受けた運用の指図に関する権限の一部（株式等の投資判断の一部）を、モルガン・スタンレー・アジア・リミテッドおよびモルガン・スタンレー・インベストメント・マネジメント・カンパニーに再委託します。 マザーファンドの組入比率は、原則として高位を保ちます。 実質的な組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。	
分 配 方 針	決算日（原則として9月6日。休業日の場合は翌営業日。）に、経費控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の中から、基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は分配を行わない場合があります。	

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



2020年9月～2025年8月

- (注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- (注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。
- (注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

*各資産クラスの指数

日本株……東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド（円ベース）

（注）海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞をご参照ください。

当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容（2025年9月8日現在）

◆組入ファンド等

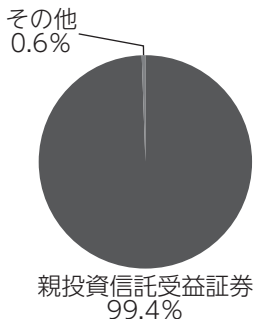
（組入ファンド数：1 ファンド）

	当期末
	2025年9月8日
グローバル・ハイクオリティ成長株式マザーファンド	99.4%
その他	0.6

（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

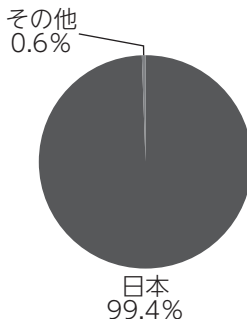
◆資産別配分



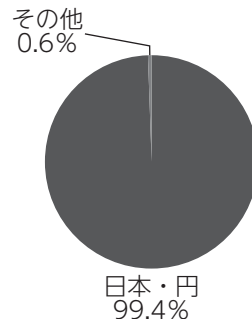
（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）現金等はその他として表示しています。

◆国別配分



◆通貨別配分



純資産等

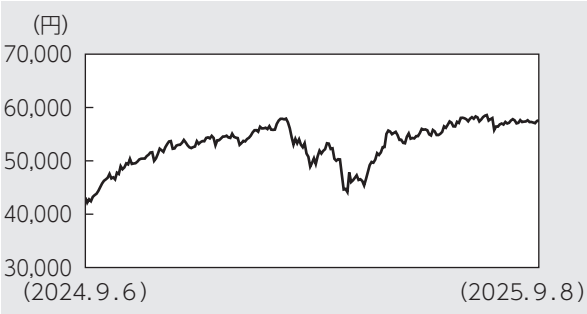
項目	当期末
	2025年9月8日
純資産総額	853,573,334,324円
受益権総口数	175,068,153,668口
1万口当たり基準価額	48,757円

（注）当期中における追加設定元本額は19,293,092,270円、同解約元本額は21,622,533,294円です。

組入ファンドの概要

「グローバル・ハイクオリティ成長株式マザーファンド」（計算期間 2024年9月7日～2025年9月8日）

◆基準価額の推移

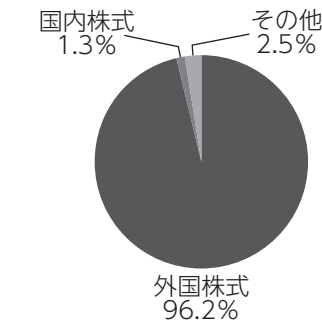


◆1万口当たりの費用明細

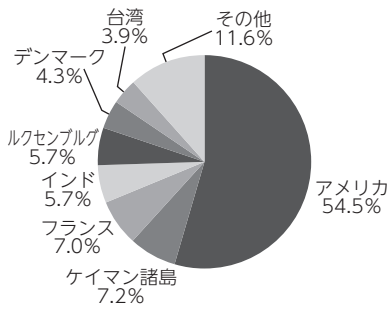
項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株式)	5円 (5)	0.009% (0.009)
(b) 有価証券取引税 (株式)	6 (6)	0.011 (0.011)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	11 (7) (4)	0.020 (0.013) (0.007)
合計	21	0.040

期中の平均基準価額は53,156円です。

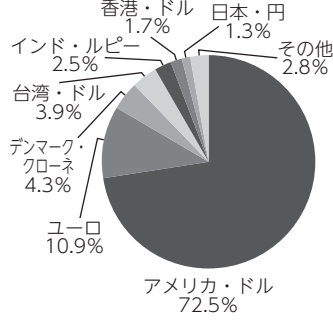
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
META PLATFORMS INC	アメリカ・ドル	7.8%
UBER TECHNOLOGIES INC	アメリカ・ドル	6.4
DOORDASH INC	アメリカ・ドル	5.9
SPOTIFY TECHNOLOGY SA	アメリカ・ドル	5.7
MERCADOLIBRE INC	アメリカ・ドル	5.6
SCHNEIDER ELECTRIC SE	ユーロ	4.5
DSV A/S	デンマーク・クローネ	4.3
AMAZON.COM INC	アメリカ・ドル	4.2
SERVICENOW INC	アメリカ・ドル	4.2
TAIWAN SEMICONDUCTOR	台湾・ドル	3.9
組入銘柄数	33銘柄	

(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 上位8位以下がある場合はその他に含めて集計しています。

(注6) 国別配分は、発行国（地域）を表示しています。

(注7) 現金等はその他として表示しています。

(注8) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- 「東証株価指数（ＴＯＰＩＸ）」は、日本の株式市場を広範に網羅し、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。同指数の指数値および同指数にかかる標章または商標は、株式会社ＪＰＸ総研または株式会社ＪＰＸ総研の関連会社（以下「ＪＰＸ」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標章または商標に関するすべての権利はＪＰＸが有しています。
- 「ＭＳＣＩコクサイ・インデックス」は、ＭＳＣＩ Ｉｎｃ．が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はＭＳＣＩ Ｉｎｃ．に帰属します。また、ＭＳＣＩ Ｉｎｃ．は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「ＭＳＣＩエマージング・マーケット・インデックス」は、ＭＳＣＩ Ｉｎｃ．が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はＭＳＣＩ Ｉｎｃ．に帰属します。また、ＭＳＣＩ Ｉｎｃ．は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「ＮＯＭＵＲＡ－ＢＰＩ国債」は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「ＦＴＳＥ世界国債インデックス（除く日本）」は、ＦＴＳＥ Fixed Income ＬＬＣにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はＦＴＳＥ Fixed Income ＬＬＣの知的財産であり、指数に関するすべての権利はＦＴＳＥ Fixed Income ＬＬＣが有しています。
- 「ＪＰモルガンＧＢＩ－ＥＭグローバル・ディバースファイド」は、Ｊ．Ｐ．モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はＪ．Ｐ．モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

